

第3期森林づくり県民税活用事業の執行及び目標達成見込み

資料3

事業名	事業主体 (補助率)	基本方針 (2018-2022)		進捗状況(累計)						目標値	進捗率	備考 (実施状況の評価)		
		成果目標 (5年間)	概算 事業費 (億円)	上段: 成果目標 / 下段: 事業費(千円)										
				2018 H30	2019 R元	2020 R2	2021 R3(見込)	2022 R4	計					
1 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山の整備														
防災・減災	みんなで支える里山整備事業【防災・減災】	市町村、森林組合、NPO法人等 (9/10)	防災・減災のために必要な里山の間伐 概ね5,700ha/5年間 → 概ね4,300ha/5年間 ★H31年2月改正	当初 12.7	115 27,041	803 217,172	808 332,661	613 300,000		2,339 876,874	4,300 ha	54%	期間後半において、比較的単価の高い搬出間伐等の実施が進み、5年間で約3,000haと目標の7割程度の実施面積となる見込み。	
	みんなで支える里山整備事業【ライフライン等保全対策】	市町村 (9/10)	ライフライン沿いの危険木伐採 ★H31年2月改正 概ね55箇所程度/5年間 → 概ね150箇所程度/5年間★R3年3月改正	H31.2変更 13.9	—	63 82,380	67 92,025	21 42,275		151 216,680	150 箇所	101%		
	防災・減災対策緊急治山事業	県 (—)	応急工事及び森林整備		—	—	—	—		0 35,500	設定なし			
	地すべり防止施設管理サポート事業	県 (—)	地すべり防止区域及び施設の点検、施設管理		—	—	—	—		0 500	設定なし			
	道路への倒木防止事業	県 (—)	県管理道路沿線の危険木伐採 ★H31年2月改正 概ね15箇所程度/5年間 → 概ね20箇所程度/5年間 ★R3年3月改正	R3.3変更 16.5	—	9 60,000	10 45,000	3 10,000		22 115,000	20 箇所	110%		
	地域で進める里山集約化事業	自治会組織、林業事業体等 (定額)	防災・減災のために必要な里山の間伐 概ね5,700ha/5年間 → 概ね4,300ha/5年間 ★H31年2月改正		115 4,911	803 3,941	808 5,017	800 6,750		2,526 20,618	4,300 ha	59%	みんなで支える里山整備事業(防災・減災)の進捗状況と同様	
	河畔林整備事業	県 (定額) 市町村 (9/10)	河畔林整備 概ね120箇所/5年間 (県45箇所) (市町村75箇所) → 概ね175箇所/5年間 (県75箇所) (市町村100箇所) ★R3年3月改正	5.6	13 27,238	20 62,857	21 50,875	15 58,527		69 199,497	75 箇所	92%		
住民等による利活用	みんなで支える里山整備事業【県民協働】	市町村、森林組合、NPO法人等 (9/10)	地域住民等の主体的な里山の整備利活用 概ね1,500ha/5年間	8.4	10 21,006	59 49,274	81 94,405	100 82,000		250 246,685	1,500 ha	17%	期間後半において、比較的単価の高い搬出間伐等の実施が進み、実施金額の伸びに比して実施面積が目標に対して低位で推移	
	里山整備方針作成事業	市町村、森林整備協議会等 (10/10)	里山整備方針の作成 120箇所/5年間		84 5,374	16 5,037	12 —	集計中 —		112 10,411	120 箇所	93%		
	県民協働による里山整備・利用事業	里山整備利用地域活動推進事業	里山整備利用推進協議会 (10/10)	里山整備利用地域の認定 150地域/5年間 → 里山整備・利活用に取り組む里山整備利用地域数 150地域/5年間 ★R3年3月改正		42 4,744	36 23,731	20 41,946	3 47,000		101 117,421	150 地域	67%	期間前半で地域認定が進んだものの、4年目以降、新規認定数が伸び悩んでいる。
		里山資源利活用推進事業	里山整備利用推進協議会 (3/4)			24 7,111	25 8,515	34 16,508	15 15,700		98 47,834	150 地域	65%	
2 自立・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用														
地消地産による木の香る暮らしづくり事業	「子どもの居場所」木質空間整備事業	市町村等 (木造・木質化 1/2) (木のおもちゃ等 3/4)	子どもの居場所の木造・木質化 概ね25箇所程度/5年間 → 概ね30箇所程度/5年間 ★R3年3月改正	当初 2.0	7 10,699	9 11,442	6 9,941	9 12,500		31 44,583	30 箇所	103%		
		市町村等 (木のおもちゃ等 3/4)	子どもの居場所への木のおもちゃ等の設置 概ね150箇所程度/5年間 → 概ね240箇所程度/5年間 ★R3年3月改正	R元.12変更 2.9	57 9,879	59 9,466	60 10,464	60 9,000		236 38,810	240 箇所	98%		
	木工体験活動支援事業	市町村等 (3/4)	木工工作コンクール応募者数 概ね5,500人程度/年 (2022年度)		4,608 6,692	4,307 7,756	2,913 7,041	実施前 7,400		2,913 28,889	5,500 人	53%	新型コロナウイルス感染拡大の影響による応募者数の減	
	木づかい空間整備事業	民間事業者等 (1/2以内、3/4以内) 県 (—)	民間施設・県有施設の木質化・調度品設置 概ね35箇所/5年間 ★R元年12月改正		—	—	10 30,425	14 49,350		24 79,775	35 箇所	69%		
	県産材公共サイン整備事業	市町村等 (3/4以内)	県産材公共サイン等設置枚数 概ね250枚程度/5年間		0 2,837	6 179	10 3,010	42 10,000		58 16,025	250 枚	23%	期間前半では事業の周知に時間がかかった。中盤以降、事業主体である市町村等において、新型コロナウイルス感染症対策等を優先	
	林業大学校教育環境整備事業	県 (—)	男子寮棟椅子設置		—	—	—	— 2,934		0 2,934	設定なし			
薪によるエネルギーの地消地産推進事業	市町村、NPO法人、公共的団体等 (3/4以内)	薪流通の仕組み構築モデル件数 10件	1.1	3 3,664	1 1,264	3 3,482	1 3,750		8 12,160	10 件	80%			
松くい虫枯損木利活用事業 → 森林病害虫被害枯損木利活用(チップ化)事業	市町村 (9/10)	取組を行う市町村 松くい虫被害が確認されている51市町村 → 森林病害虫被害枯損木処理量7,000m3/2年間 ★R3年3月改正	R3.3変更	4 6,566	3 10,524	0 0	— —		7 17,090	51 市町村	14%	期間後半から、モデル的な取組から本格的な利活用に転換		
				—	—	—	7,000 100,000		7,000 100,000	14,000 m3	50%			

事業名	事業主体 (補助率)	基本方針 (2018-2022)		進捗状況(累計)						目標値	進捗率	備考 (実施状況の評価)
		成果目標 (5年間)	概算 事業費 (億円)	上段: 成果目標 / 下段: 事業費(千円)								
				2018 H30	2019 R元	2020 R2	2021 R3(見込)	2022 R4	計			
3 森林づくりに関わる人材の育成												
里山整備利用地域リーダー育成事業	県 (一)	地域リーダーの養成概ね150人 (累計)	0.3	30	20	63	30		143	150	95%	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大人数を集めた研修等の開催が困難となった。
		森林整備等に携わる人材 概ね4,500人 (累計)		623	1,651	2,585	3,119		7,978	4,500	28%	
森林セラピー推進支援事業【人材育成等】	県 (一)	森林セラピー地域コーディネーターの育成	0.4	1,160	1,985	1,199	4,472		8,816	設定なし		
エコツーリズムガイド人材育成事業	県 (一)	エコツーリズムガイドの育成		-	1,540	0	1,979		3,519	設定なし		
自然教育・野外教育推進事業	県 (一)	自然教育プログラムのモデル実施校 30校/5年間 (小・中・高 各10)	0.1	-	6	1	7		14	30	47%	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予定していたプログラム等が中止となった。
4 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用												
学校林等利活用促進事業	県 (一) 市町村等 (10/10、9/10)	未整備の学校林の整備 → 未整備の学校林の整備・利活用 ★R3年3月改正 約60箇所程度/5年間	1.0	6	13	16	7		42	60	70%	
自然保育活動フィールド等整備事業	「信州やまほいく」認定園 (フィールド整備 9/10) (付帯施設整備 1/2)	信州やまほいく認定園のフィールド整備等 約25園程度/5年間	0.3	9	2	6	5		22	25	88%	
まちなかの緑地整備事業	市町村、NPO等 民間団体 (1/2、1/3)	県民協働による市街地の緑化整備 概ね25箇所程度/5年間	0.3	4	2	1	1		8	25	32%	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、整備箇所隣接地を含めた土地所有者との対面での打合せ等が困難
観光地の景観整備 (県単道路橋梁等維持修繕費)	県 (一)	街路樹の整備等を行う街路延長 概ね延べ40km程度/5年間	当初 1.2	14	10	14	7		45	40	113%	
観光地等魅力向上森林景観整備事業	市町村 (9/10)	地域の景観に合致した間伐等 概ね85ha程度/5年間 → 概ね110ha/5年間 ★H31年2月改正	H31.2変更 2.1	11	43	30	20		104	110	95%	
森林セラピー推進支援事業【施設整備等】	市町村 (森林整備 9/10) (施設整備 1/2)	森林セラピー基地の整備 全10箇所/5年間 (累計)	0.5	6	2	0	0		8	10	80%	
5 市町村に対する財政調整的視点での支援												
森林づくり推進支援金	市町村 (定額)	全ての市町村(77市町村)で地域固有の課題解決の取組が行われること	4.5	77	77	77	77		77	77	100%	
6 森林づくりの理解を深める普及啓発及び森林税の評価・検証												
みんなで支える森林づくり推進事業	県 (一)	森林税の使途の認知度 30%	0.6	46	44	38	調査前		44	30	145%	
森林(もり)の里親促進事業	県 (一)	企業・団体等と地域との協定の締結 25件/5年間		5	5	3	5		18	25	72%	
地球温暖化防止木材利用普及啓発事業	県 (一)	(設定なし)		354	205	460	算定中		1,019	設定なし		
地球温暖化防止吸収源対策推進事業	県 (一)	(設定なし)		235	246	25	400		907	設定なし		
				2,010	1,660	1,293	算定中		4,963	設定なし		
				129	45	43	471		687			
事業費計				344,528	829,505	1,038,928	1,033,143		3,246,105			

参考: 長野県森林づくり県民税残高の状況 (令和2年度みんなで支える森林づくりレポートP32より一部抜粋)

(単位: 千円)

歳入・歳出区分	第2期末	2018 H30	2019 R元	2020 R2	2021 R3(見込)	2022 R4(見込)	2023 R5(見込)
歳入 A	733,893	678,494	686,662	685,912	685,912	685,912	130,000
前年度森林税残高 B		733,893	854,797	711,954	358,938	11,707	—
執行可能額 C=A+B		1,412,387	1,541,459	1,397,866	1,044,850	697,619	130,000
活用額							
当年予算		344,528	627,532	1,004,149	992,341	—	—
前年度からの繰越予算		213,062	201,974	34,779	40,802	—	—
歳出計 D (=事業費計)		557,590	829,505	1,038,928	1,033,143	—	—
森林税残高 C-D	733,893	854,797	711,954	358,938	11,707	—	—

R5年度の歳入は制度上法人税収のみ。